

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 4 部門第 1 区分

【発行日】平成30年1月18日 (2018.1.18)

【公開番号】特開2017-106211(P2017-106211A)

【公開日】平成29年6月15日 (2017.6.15)

【年通号数】公開・登録公報2017-022

【出願番号】特願2015-240004(P2015-240004)

【国際特許分類】

E 0 4 H 17/16 (2006.01)

E 0 1 F 8/00 (2006.01)

【 F I 】

E 0 4 H 17/16

E 0 1 F 8/00

【手続補正書】

【提出日】平成29年11月30日 (2017.11.30)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 1】

隣接する支柱に支持されて段積みされた長方形ボックス形状の吸音板からなる遮音壁において、一対の支柱間に、それぞれ端部が前記支柱に設けられた支持部材によって支持されたワイヤが、それぞれの吸音板の前面を通して横方向に張設され、前記吸音板の前面を通るワイヤと前記吸音板がこの吸音板の前面に固着された連結部材によって接続されていることを特徴とする吸音板の耐崩落性遮音壁。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 0 6 】

前記第 1 の課題を解決するために、この発明は、隣接する支柱に支持されて段積みされた長方形ボックス形状の吸音板からなる遮音壁において、一対の支柱間に、それぞれ端部が前記支柱に設けられた支持部材によって支持されたワイヤが、前記それぞれの吸音板の前面を通して横方向に張設され、前記吸音板の前面を通るワイヤと前記吸音板が、この吸音板の前面に固着された連結部材によって接続されていることを特徴とする構成を採用したのである。